

取り組むきっかけ

平成30年度英語教育推進リーダー中央研修を受講する機会があり、それまであまり縁がなかった「小学校における外国語」について深く考える契機となった。中央研修での貴重な経験を、外国語について困っている多くの先生方に伝えたいという思いを持ったときに巡回指導教員研修事業のお話があり、引き受けさせていただくことになった。

達成できたこと

- ・町内全ての学校、学級において学級担任がALTと連携を図った授業づくりの方法や45分間の流れを一緒に考えることができた。
- ・英語が苦手と感じている先生方がALTのいない授業でも「ねらい」を明確にした授業づくりのポイントを一緒に考えることができた。
- ・クラスルームイングリッシュを用いて、先生が「使って見せる」授業の大切さについてお伝えすることができた。
- ・実践例の極めて少ない、複式学級における「わたり」「ずらし」を取り入れた外国語授業の実践を全ての複式学級で取り組むことができるように情報収集をしたり、該当クラスの担任の先生方と綿密に話し合ったりして流れを一緒に作ることもできた。

日頃心掛けていたこと

- ・どのような活動を取り入れることで「先生方のやりたいこと」と「教材」がつながるか考えながら打ち合わせ等を行った。
- ・ALTと担任の先生のコミュニケーションが円滑に進められるように努めた。
- ・ALTの先生の「立ち位置」（T2としてできること、やるべきこと、有効な活用など）について明確にできるように伝え続けた。
- ・教材の持つ特性について見極めながら児童の実態に合う授業プランを提案できるように努めた。

苦労したこと

教員としての経験がまだ浅く、なかなか上手に伝えることができなかった。

今後の取組

外国語についての評価方法や評価規準などの整備を行っていきたい。